

いつまでもお元気で

平成17年度開田村敬老会



コンサートでは、お年寄りの皆さんも踊りで参加



『好き嫌いはないよ...』という出席者の中で最高齢だったNさん(把ノ沢)

また、今年も末川中沢に別荘を持っているKさんから88歳を迎えられたお年寄り16人に手作りの湯飲みが贈られました。

式典の後、お待ちかねの祝宴が始まりました。今年のステージを務めたのは「あんみ通」の女性2人。ふるさとづくりコンサートと銘打った津軽三味線と

11月に合併を控えているため今年最後になる敬老会が9月14日、御岳明神温泉やまゆり荘の広間で行われました。対象者は今年度中に70歳に到達する576人。当日はこのうち200人余りが出席し、お互いの健康を確かめ合いながら酒を酌み交わし楽しいひとときを過ごしました。

式典では最初に千村村長が祝辞を述べられ、続いて80歳以上のお年寄りに祝い金と全員に記念の折りたたみカサがプレゼントされました。

民謡のステージは、迫力満点で会場いっぱいのお年寄りの皆さんは、津軽や秋田民謡、沖縄の歌、オリジナル曲などが次々と繰り出されるたびに盛んな拍手を送っていました。

「あんみ通」の2人はやまゆり荘でのステージを終えると、すぐさまその足で今春、下ノ原にオープンした総合福祉施設「開田の里」を訪問。50人余りの入所者の前で三味線演奏と民謡を披露し、お年寄りの皆さんは思わぬ敬老プレゼントに大変喜んでいました。

略



『あんみ通』の三味線がお年寄りを元気づけた